

32 慶應義塾大学

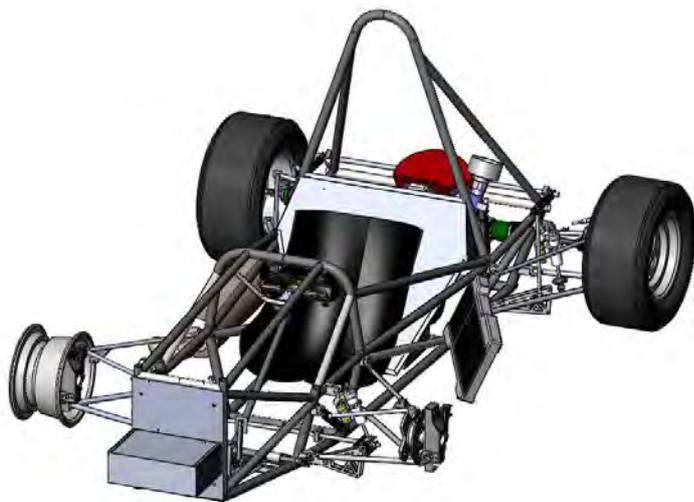
Keio University

Keio-Formula.Com

Keio-Formula.Com

<http://keio-formula.com/>

13回大会を終えて



今回の総合結果・部門賞

●総合64位

Profile チーム紹介・今までの活動

私たち慶應義塾大学は第1回大会から全日本学生フォーミュラ大会に参加しています。資金面、人数面などサークルならではの悩みを抱えつつも、設計・製作だけでなく自由度の高い活動、文系や女子の多いメンバーなど多彩なチームになっております。少数ならではの個々の能力の高さが特色です。

Team-member チームメンバー

石川 智彬 (CP)
飯田 訓正 (FA)
相原 祐平、太田 篤、鈴木 貴士、北 晃弘、
阿久津 貴広、吉田 彩花、深町 展夢

Presentation

プレゼンテーション

KF-13プロジェクトでは今までのコンセプトを継承し、軽量・低重心を軸としたKeio-Formula.Comらしさを保ちつつ、更にマシン性能を向上させるためさまざまなチャレンジをするため2ヶ年計画のKF-14に繋げることができるようなマシンの設計・製作を行いました。

KF-13スタート時のメインメンバーが1年生だったこと、メンバーの人数が少なかったことから、2ヶ年計画とすることを決定し、KF-13では車設計の基礎知識を勉強しつつ、KF-12の車両走行より性能評価を行ない、KFマシンの特徴を理解し、それらを踏まえ将来的なコンセプトを決定し、実際に新しいメンバーで旧メンバーに教えを受けつつKF-13マシンの設計・製作を行いました。

まず2ヶ年計画の中で目標としたのはKF車両では弱い部分であった旋回性能の向上です。それを実現するためにまずドライバーの走りを最大限引き出すために、今までのマシンでは軽量化のため不足していた剛性の向上を施しました。また、旋回性能を上げるためにエアロパーツを取り付けることを想定し、エアロパーツの有無で比較評価できるようなマシン設計を行いました。

KF-13プロジェクトでは少人数の中で最大限のチャレンジを行ない、次プロジェクトに繋げるためのマシンを設計・製作しました。

Participation report

参戦レポート

今回少人数でのプロジェクトだったこともあり、完成度の高いマシンで大会に臨むことができませんでした。

車検審査では2日目に1回目の車検を受けましたが、十分な対策ができていなかったため多くの指摘を受けました。対策後再車検を行ない、技術車検を通過しました。その際さまざまな方に応援していただいたりお知恵を貸していただいたりし、協力していただきました。本当にありがとうございました。

また3日目には他審査を順調に通過していきましたが、騒音審査で基準をオーバーしてしまいました。その後、対策を施して騒音審査を通過しましたが、基準ぎりぎりに調整していたこともあって対策の甘さを痛感しました。3日目に車検をすべて通過することができましたが、動的審査に出走可能な時間に合わせることはできませんでした。

プレゼンテーション審査やデザイン審査ではその直前対策が不十分であったため万全な状態で臨むことができず、結果もそれに準ずる結果となりました。コスト審査では前年度指摘事項を充分確認し対策を行なったことから昨年度より良い結果となりました。

全体として準備不足がたたり、静的審査でも満足する結果が得られず、動的審査にも出場することができませんでした。少人数チームだからこそチームマネジメントの必要性を痛感しました。また、13プロジェクトが大会に参加できたのはスポンサー、OB・OGの方々のおかげです。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

Sponsors スポンサーリスト

多数の企業スポンサー様、個人スポンサー様にご支援いただいております。誌面の都合上、すべてのお名前を掲載することができず、誠に申し訳ございません。チームホームページよりご覧いただけると幸いです。
(チームHP:<http://keio-formula.com/>)

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/32.html>